

「安居地区協議会」日帰り語り部講参加報告

10月7日編集

10月4日(日)「安居地区協議会」をお招きし、有峰森林文化村の行事「日帰り語り部講」を開催しました。天候が心配されましたが、終日曇天で、散策日和となりました。8:00バスで安居地区協議会を出発しました。他の行事と重なり参加者は8名でした。アルペン村(トイレ休憩)経由で、10:00ビジターセンターに到着しました。

10:20ビジターセンターではじまりの会を開催、次長吉江の挨拶に続き、担当大井より本日の行程、注意点等について説明致しました。

10:40ビジターセンターを出発、有峰ダム展望台にて、担当大井より、有峰ダム建設の歴史を含めた有峰ダムの概要説明をし、記念撮影を行いました。

その後本日の目的地、冷タ谷遊歩道に向かいました。冷タ谷遊歩道は、ブナ・ミズナラ・オオカメノキ・カエデなどが生育している夏緑樹林帯で、距離約2km、途中、薬師岳、有峰湖が一望できる水平道あり、奇妙な形をした木「あがりこ」もあり、変化に富んだ、散策時間:1~1.5時間の中級コースです。今回は、北口からのコースを選択しました。登り口では、イノシシノが折り起こした地面を観察する嬉しいチャンスにも恵まれました。途上、生育する樹木の説明を継続しました。生憎の曇天でしたが、水平道では、待望の薬師岳、渾水状態の有峰湖を一望できました。途上、栃の実も落下しており、参加の中には、栃の実拾いをされる方もいました。奇木「あがりこ」を観察できる場所では、担当大井からの説明に皆さん熱心に傾聴されていました。皆さん、健脚揃いでしたが、転ばぬ先の杖も上手に使い、散策は1時間20分で終了しました。下山した南口より冷タ谷キャンプ場に向かいました。12:00冷タ谷キャンプ場に到着、昼食を取りました。昼食後全員で有峰湖畔までおり、全員で記念撮影を行いました。参加者の中には、水際で有峰湖に触れ、冷タ谷と聞いていましたが、意外に湖の水は温かったと感想をお話し戴きました。

13:10冷タ谷キャンプ場をバスで出発、13:30ビジターセンターに到着、アンケート記入、未会員の方には村民登録、LINE登録を戴きました。13:50より「ふりかえりの会」を開催しました。次長吉

江の挨拶に引続き、担当大井より最終目的地「大山歴史民俗資料館」のみどころ説明を兼ね、お礼の挨拶を行いました。14:30、有峰森林文化村職員一同にて駐車場よりお見送りをして、本日の日帰り語り部講を終了しました。



はじまりの会で挨拶する次長吉江



はじまりの会で行程説明する主任指導員大井



有峰湖展望台で有峰ダムの概要説明する主任指導員大井



有峰ダムの概要説明を受ける参加者



イノシシの被害を受けた冷夕谷遊歩道の入口



有峰湖展望台にて記念撮影



樹木の説明に傾聴する参加者



冷夕谷遊歩道北口で説明する主任指導員大井



水平道にさしかかった参加者



水平道移動中の参加者



一列になり水平移動中の参加者



南口へ下山中の参加者



水平道で有峰湖と薬師岳を一望する参加者



昼食後歓談中の参加者



水平道より有峰湖と薬師岳を眺望



有峰湖と薬師岳を背景に湖畔で記念撮影



奇木「あがりこ」を観察中の参加者



ふりかえりの会で挨拶する次長吉江



ふりかえりの会でお礼を述べる主任指導員大井



参加者をお見送りする主任指導員大井